



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東 大

上場会社名 積水化成品工業株式会社

コード番号 4228 URL <http://www.sekisuiplastics.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 恵造

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 藤原 敬彦

TEL 06-6365-3022

四半期報告書提出予定日 平成24年10月31日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券会社アナリスト、機関投資家ファンドマネジャー向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	48,673	△3.2	279	△75.4	51	△94.6	△134	—
24年3月期第2四半期	50,257	0.4	1,135	△54.9	953	△58.4	214	△80.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 126百万円 (△78.9%) 24年3月期第2四半期 601百万円 (△49.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△1.43	—
24年3月期第2四半期	2.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	101,067	48,748	47.3
24年3月期	101,889	48,911	47.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 47,835百万円 24年3月期 47,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,600	0.2	1,600	△29.6	1,200	△43.1	600	△19.4	6.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 有
 - ④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	95,976,218 株	24年3月期	95,976,218 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,981,077 株	24年3月期	1,980,069 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	93,995,750 株	24年3月期2Q	93,998,405 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては発表時現在のデータにより、経営者が現状で判断する一定の前提及び仮定に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。上記の予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日）の日本経済は、欧州債務不安に端を発する世界経済の減速や円高の長期化で生産・輸出が鈍化し、個人消費も弱含むなど厳しい状況が続きました。日本の発泡プラスチック業界におきましては、顧客の生産減少や全般的な消費意欲の減退に加え、原材料価格の上昇もあり、厳しい収益環境となりました。

このような経営環境のなか、当社グループは3ヵ年中期経営計画「E N S 2 0 0 0 (Evolution for the Next Stage 2000)」(平成22年度～平成24年度)の最終年度を迎えました。当第2四半期連結累計期間は、生活分野、工業分野ともに主力製品の需要が低調であったことに加え、原材料価格上昇に対して末端製品価格への転嫁が遅れた影響を受けました。そこで、従来の組織や地域の枠を超えたチーム編成によるソリューション営業などの取り組みを進め、全社的なコスト削減にも努めましたが、売上高は486億7千3百万円（前年同期比3.2%減）となり、営業利益は2億7千9百万円（前年同期比75.4%減）、経常利益は5千1百万円（前年同期比94.6%減）、EPS工法において使用される発泡スチロール製品の取引に関し、独占禁止法違反に対する課徴金納付命令を受領したことによる特別損失を計上したことなどから、四半期純損失は1億3千4百万円（前年同期は四半期純利益2億1千4百万円）となりました。

以下、各セグメントの業績は次のとおりであります。

<生活分野>

生活分野の売上高は332億5百万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益は5億7千2百万円（前年同期比45.7%減）となりました。

「エスレンビーズ」（発泡性ポリスチレンビーズ）は、農水産資材関連での需要低調や円高による輸入品の増加などにより売上高は前年同期を下回りました。「エスレンシート」（発泡ポリスチレンシート）は、カップめん容器向けの前年同期における震災関連需要の反動減などから、売上高は前年同期を下回りました。土木資材関連では、「アクアロード」（雨水貯留浸透槽）などで震災復興需要が寄与し、売上高は前年同期を上回りました。

<工業分野>

工業分野の売上高は154億6千8百万円（前年同期比6.5%減）、セグメント利益は3億9千4百万円（前年同期比45.0%減）となりました。

「バイオセラン」（ポリスチレン・ポリオレフィン複合樹脂発泡体）は、自動車関連での需要回復や、国外での需要拡大があったものの、日本の薄型テレビ関連における需要減退、生産海外移転の影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。「テクポリマー」（有機微粒子ポリマー）は、液晶テレビパネルなど光拡散用途での需要がやや回復してきたことに加え、塗料用途などの受注が堅調であったことから売上高は前年同期を上回りました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,010億6千7百万円（前連結会計年度末比8億2千1百万円減）となりました。資産の部では、受取手形及び売掛金の減少などにより流動資産が23億8千1百万円減少し、有形固定資産の増加などにより固定資産が15億6千万円増加しました。一方、負債の部では、未払金の減少などにより流動負債が4億6千3百万円減少し、長期借入金の減少などにより固定負債が1億9千4百万円減少しました。純資産は、487億4千8百万円となり、1億6千3百万円減少しました。自己資本比率は47.3%となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少などにより、前年同期に比べ1億4千9百万円収入が増加し、19億4千7百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却などにより、前年同期に比べ1億9千1百万円支出が減少し、19億8千7百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額の減少などにより、前年同期に比べ1億2千3百万円支出が減少し、5億3千1百万円の支出となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ5億6千8百万円減少（前年同期比5千8百万円増加）し、61億7千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降の当社グループを取り巻く環境は、日本の需要停滞に加え、中国をはじめとした世界経済の変調もあり、引き続き厳しい状況が続くものと予想されます。従来の組織や地域の枠を超えたチーム編成によるソリューション営業での売上拡大を、生産・開発・管理部門も一体となってスピードアップして進めるとともに、全グループあがっての徹底したコスト削減に取り組み挽回に努めますが、第2四半期までの収益大幅悪化を取り戻すには至らず、平成24年4月27日に公表した平成25年3月期通期連結業績予想ならびに平成25年3月期の配当予想を修正いたしました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,777	6,286
受取手形及び売掛金	29,890	28,300
商品及び製品	6,242	6,102
仕掛品	126	134
原材料及び貯蔵品	2,210	2,056
その他	2,013	1,979
貸倒引当金	△63	△44
流動資産合計	47,197	44,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,669	14,205
機械装置及び運搬具（純額）	8,325	8,420
土地	18,479	18,556
その他（純額）	2,634	3,114
有形固定資産合計	43,109	44,297
無形固定資産		
のれん	12	4
その他	489	470
無形固定資産合計	501	475
投資その他の資産		
その他	11,299	11,609
貸倒引当金	△219	△130
投資その他の資産合計	11,080	11,479
固定資産合計	54,692	56,252
資産合計	101,889	101,067

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,493	18,243
短期借入金	8,568	8,908
未払法人税等	163	185
賞与引当金	910	740
役員賞与引当金	28	4
製品補償引当金	99	88
その他	9,631	9,262
流動負債合計	37,896	37,433
固定負債		
長期借入金	8,500	8,040
退職給付引当金	1,981	2,095
その他	4,599	4,750
固定負債合計	15,080	14,886
負債合計	52,977	52,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,533	16,533
資本剰余金	17,261	17,261
利益剰余金	11,893	11,476
自己株式	△654	△654
株主資本合計	45,034	44,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,484	2,690
土地再評価差額金	1,204	1,204
為替換算調整勘定	△726	△677
その他の包括利益累計額合計	2,962	3,218
少数株主持分	914	913
純資産合計	48,911	48,748
負債純資産合計	101,889	101,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	50,257	48,673
売上原価	39,443	38,921
売上総利益	10,813	9,752
販売費及び一般管理費	9,678	9,472
営業利益	1,135	279
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	97	95
持分法による投資利益	1	—
その他	59	82
営業外収益合計	160	181
営業外費用		
支払利息	81	82
為替差損	114	105
持分法による投資損失	—	14
その他	146	207
営業外費用合計	342	409
経常利益	953	51
特別利益		
投資有価証券売却益	—	31
退職給付引当金戻入額	25	—
災害損失引当金戻入額	22	—
貸倒引当金戻入額	10	—
特別利益合計	58	31
特別損失		
課徴金	—	82
投資有価証券評価損	91	6
支払補償費	198	—
事業整理損	76	—
その他	12	13
特別損失合計	378	102
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	632	△19
法人税等	392	113
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	240	△132
少数株主利益	26	2
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	214	△134

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	240	△132
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	259	206
為替換算調整勘定	101	53
その他の包括利益合計	360	259
四半期包括利益	601	126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	580	120
少数株主に係る四半期包括利益	20	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	632	△19
減価償却費	1,783	1,814
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△23	△108
受取利息及び受取配当金	△99	△99
支払利息	81	82
持分法による投資損益(△は益)	△1	14
退職給付引当金の増減額(△は減少)	61	116
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△26	△24
賞与引当金の増減額(△は減少)	△153	△169
製品補償引当金の増減額(△は減少)	△16	△10
投資有価証券売却損益(△は益)	0	△31
投資有価証券評価損益(△は益)	91	6
売上債権の増減額(△は増加)	485	1,772
たな卸資産の増減額(△は増加)	△599	297
仕入債務の増減額(△は減少)	796	△1,588
その他	△468	△501
小計	2,543	1,549
利息及び配当金の受取額	100	105
利息の支払額	△74	△71
保険金の受取額	4	14
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△776	350
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,798	1,947
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△14	△84
定期預金の払戻による収入	—	6
有形固定資産の取得による支出	△2,135	△2,093
有形固定資産の売却による収入	7	73
投資有価証券の取得による支出	△2	△68
投資有価証券の売却による収入	5	120
貸付けによる支出	△41	△3
貸付金の回収による収入	16	19
その他	△14	43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,178	△1,987

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	5	△339
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△80	△80
少数株主からの払込みによる収入	2	—
自己株式の取得による支出	—	△0
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△469	△282
少数株主への配当金の支払額	△14	△7
その他	△98	△120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△655	△531
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18	2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,054	△568
現金及び現金同等物の期首残高	7,172	6,745
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,118	6,176

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

- I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	生活分野	工業分野	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,712	16,544	50,257	—	50,257
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,494	1,089	3,584	△3,584	—
計	36,207	17,633	53,841	△3,584	50,257
セグメント利益	1,055	717	1,773	△819	953

(注) 1. 調整額は、以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△819百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△820百万円、固定資産未実現利益1百万円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 各セグメントに属する主要な製品の名称

- ・生活分野—— エスレンビーズ、エスレンシート、エスレンウッド、ESダンマット、EPS土木工法
- ・工業分野—— ピオセラン、ライトロン、ネオミクロレン、セルペット、テクポリマー、テクノゲル

- II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	生活分野	工業分野	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,205	15,468	48,673	—	48,673
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,358	1,122	2,480	△2,480	—
計	34,563	16,590	51,154	△2,480	48,673
セグメント利益	572	394	967	△915	51

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△915百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△917百万円、固定資産未実現利益0百万円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。

これによるセグメント利益に与える影響は軽微であります。

4. 各セグメントに属する主要な製品の名称

- ・生活分野—— エスレンビーズ、エスレンシート、エスレンウッド、ESダンマット、EPS土木工法
- ・工業分野—— ピオセラン、ライトロン、ネオミクロレン、セルペット、テクポリマー、テクノゲル

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。